



地下鉄



さいたま市地下鉄7号線
延伸認可申請事業化
実現期成会

7号線 延伸 ニュース

回
覧

第25号



2025.8 Vol.25

清水さいたま市長 特別講演会 開催

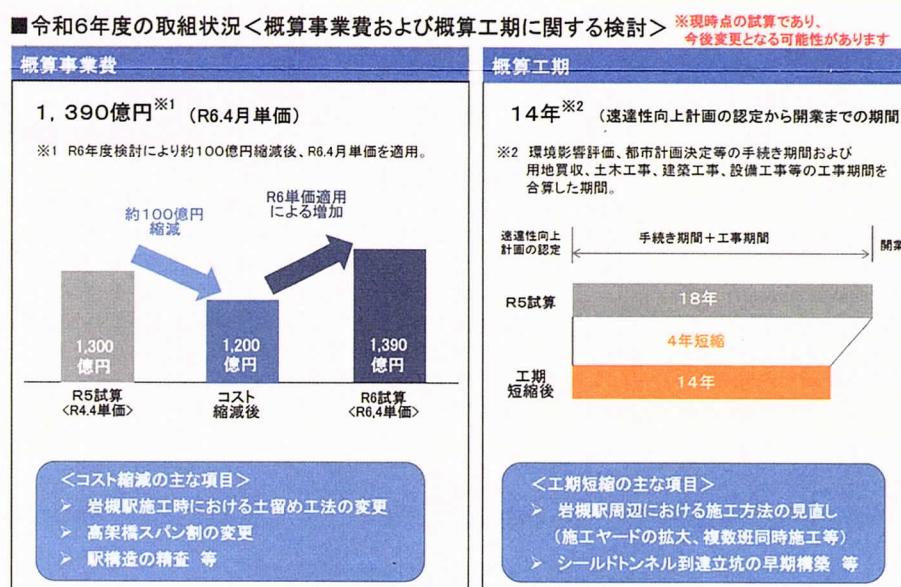
さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会では、4月21日(月)に清水さいたま市長を講師にお招きして特別講演会を開催いたしました。具体的な内容は以下のとおりです。

とき: 令和7年4月21日(月)
午前10時
場所: 岩槻駅東口
コミュニティセンター
多目的ルーム
出席者: 128名



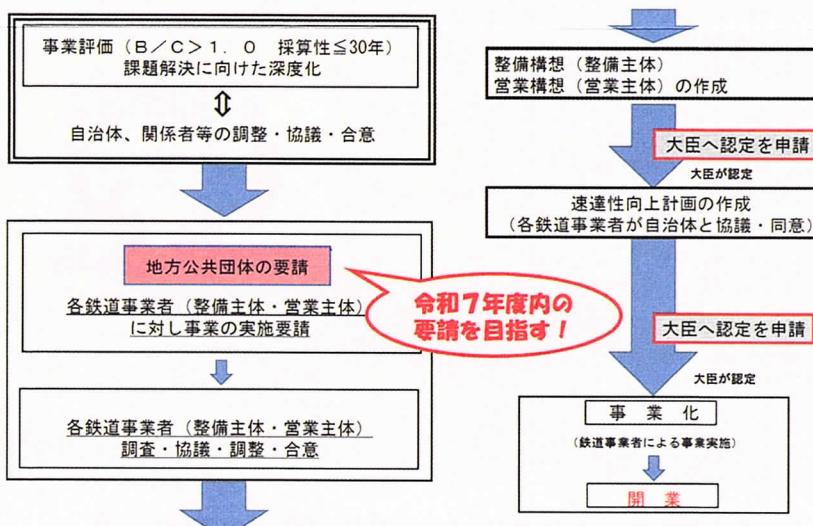
地下鉄7号線延伸事業の現状

令和6年1月より独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構と埼玉高速鉄道株式会社から技術支援を受け、同年3月に「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸連絡調整会議」を設置・開催し、延伸計画の深度化に向けた検討状況の報告、調整及び情報交換を行ってきたこと、その結果、概算事業費1,390億円、概算工期※は令和5年に試算した18年から4年短縮した14年で検討している旨の説明がありました。



今後の取り組み「今年度中の事業実施要請を目指す」

地下鉄7号線延伸の手続きの流れ



今後の取り組みについてもご説明いただきました。

まずB/C(費用便益比)が1を超えて、30年以内の累積資金収支の黒字転換といった都市鉄道等利便増進法の適用目安を達成した「速達性向上事業に関する計画の素案」を作成し、令和7年度内の各鉄道事業者(整備主体・営業主体)への事業実施要請を目指すこと、その後、各鉄道事業者において国への手続きを行い、事業着手、事業実施、開業となるとの事業の流れを説明されました。

また、中間駅周辺の今後のまちづくりについては、今年度に有識者会議を開催して「地下鉄7号線中間駅まちづくり方針」の改定を行い、有識者会議と並行して土地区画整理事業の概略検討を進め、区画整理事業を具体化していく、来年度(令和8年度)以降に説明会・意向調査を行うとともに、土地区画整理事業の事業化に向けて設計・測量等を行うなど、鉄道延伸事業と一緒に取組んでいく旨述べられました。

結びに、「地下鉄7号線の延伸は、岩槻区の皆様の長年の悲願であると同時にさいたま市全体の悲願であり、浦和美園地区と岩槻駅周辺地区の二つの副都心を結ぶ多核ネットワークが形成される大変意義のある事業と認識しており、市長として覚悟をもつて全力をあげて延伸事業と中間駅のまちづくりを着実に進めていきたい。そのためにも今年度は大変重要な年になることから、引き続き地元の皆様の協力と支援をいただきたい。」との強い思いを述べられ、来場者から大きな拍手が沸き、特別講演会が終了いたしました。



開会挨拶をする筑波会長



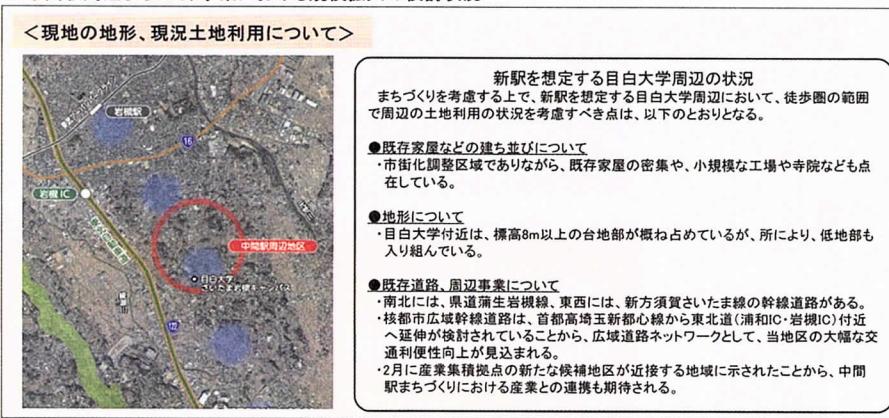
多くの来場者がお越しになつた会場



閉会挨拶をする松永副会長

次に、中間駅周辺まちづくり事業について、「中間駅を中心に徒歩圏の範囲を基本とし、最大120ヘクタール程度の広さで、定住人口を10,000人程度」に拡大して検討を深度化する旨話されました。中間駅周辺のエリアはまちづくりのポテンシャルが非常に高いこと、また、核都市広域幹線道路の整備による首都高速埼玉新都心線の東北自動車道への接続の検討、産業集積拠点の新たな候補地として笠原保地区が位置付けられたことを説明され、今後は中間駅周辺地域の自然を活かしたグリーンインフラの取組や、自白大学と連携して地域の特徴を活かした魅力あるまちづくりの検討をしていくとの考えを述べられました。

■中間駅周辺まちづくり事業における規模拡大の検討状況



中間駅周辺まちづくりの規模は、この周辺土地利用状況や近年の駅周辺開発の事例、周辺住民・民間事業者ニーズなどを踏まえ、中間駅を中心に徒歩圏の範囲を基本とし、最大120ha程度の広さで、定住人口10,000人程度の規模とし、今後検討を深度化する。

※今後、現地調査や地元意見聴取などにより、精査していくことが必要。

地下鉄7号線とは?

目黒～赤羽岩淵～浦和美園(35.9km)からなる東京メトロ南北線と埼玉高速鉄道線(SR)の総称で、東京メトロ南北線、埼玉高速鉄道線(SR)、東急線、相鉄線が相互直通運転をしています。



路線図

鉄道今昔物語 第23話

～五感で感じる鉄道旅～

毎日暑い日が続きますね。夏だから当たり前とはいって、皆さまお変わりございませんか?

暑中お見舞い申し上げます。

こう暑いと、ラッシュ時間帯の電車内は、少なからず憩いの場。その中で、このニュースレターをご覧の方も、多くいらっしゃることと思います。いつもご覧いただき、ありがとうございます。早期の延伸と共に願ってまいりたいと思います。

さて、正確に数えたことはないのですが、私は年間で数百本の列車に乗っています。通勤や通学などでお使いの方も、基本的に毎日往復でしょうか、やはり数百回はご利用のことと思います。

ただ私の場合、列車に乗車することは、「手段」ではなく「目的」です。

そのため、各地の多種多様な列車に乗る機会も多く、そんな時に感じることを少し書かせていただきます。

お仕事で地方に行く時、または現地で列車に乗る時に、まず、車両の外観の違いに目がいきます。それは、車体色の違いや、車体形状の違いなどです。カッコいいお顔の電車があつたり、派手なカラーの電車があつたりと、千差万別の特徴です。

そして、車内に入ると良い意味で、匂いがあります。いつも自分が利用している電車とは明らかに違う、「香り」ですね。

例えば、海岸線を走る電車では何となく潮の香り漂ってきたり、山間部を走る列車からは、芳香剤のような、森の香りがしたりします。そして、シートに座ってみると、いつもの電車よりも、座り心地がフカフカだったり、逆に公園のベンチのように固くガッチガチだったり……。

発車時刻になり、列車が動き出すと、クーンと鳴くモーター音や、カツカツカとディーゼルエンジンの音など、駆動系装置の違いが、音になって伝わってきます。

目的地の見慣れぬ駅で、立ち喰い蕎麦屋や、駅舎の出汁ほど、地方色を感じとれるものはありません。

北に向かえば色濃くなり、南に向かえば色淡くなる。そして不思議なことに、駅蕎麦ではハズレに出会ったことはありません。駅蕎麦って、何であんなに美味しいのでしょうか。

車両外観に視線を流し、車内で香りを嗅いだり、フカフカのシートの表皮を思わず手で触ってしまう感触。走り出しの力強い駆動音を聴きながら、降り立った駅で、美味しい駅蕎麦に舌鼓を打ち、鉄道旅を大いに楽しむ。

鉄道旅の醍醐味とは、「視覚」「嗅覚」「触覚」「聴覚」「味覚」の五感で楽しめるからこそ、味わい深く楽しむ、私は思っています。



著者紹介



鉄道ジャーナリスト
ワタナベ シエ
渡部 史絵 氏

2006年から活動。月刊誌『鉄道ファン』や『東洋経済オンライン』の毎月連載をはじめ、書籍や新聞・テレビやラジオ等で鉄道の有用性や魅力を発信中。

著書は21作を数え、『路面電車の魅力大研究』(イカロス出版)『地下鉄の魅力大研究』(天夢人)『超! 探求読本 誰も書かなかつた東武鉄道』(河出書房新社)『地下鉄の駅はものすごい』(平凡社)他、多数。国土交通省など行政や大学、鉄道事業者にて講演活動等も多く行う。

フジテレビ『明石家さんまのホンマでっか!?TV』に鉄道の評論家として出演、NHK「おはよう日本」など、海外ではスイス国営テレビ特集番組など様々な報道番組にも、専門家として出演している。

- 公式X
<http://twitter.com/shierail>
- 公式ブログ
<http://ameblo.jp/shie-rail/>
- 渡部史絵 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCsKVtGg5vhZty3S-52OsQ>

いたします。

2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用促進に向けた事業を行います。

3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

一期成会に加入するには

趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一萬円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業者の方は、賛助会員としてご加入(会費無料)できます。

一期成会が行うこと

- 調査・検討事業を行ない、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

地下鉄7号線

延伸地域

「散策マップ」



地下7期成会では、浦和美園駅～岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現にむけての啓発活動の一環として、延伸線地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。

本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム(絵文字)入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅～岩槻駅地域を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介しております。(ご希望の方は、期成会事務局にご連絡ください)

地下鉄7号線延伸事業の現状



地下鉄7号線(埼玉高速鉄道)
延伸連携会議が開催されました。

令和7年3月25日に副知事、副市長が構成員として参画した第1回地下鉄7号線(埼玉高速鉄道)延伸連携会議が開催され、各関係者の最近の取組の状況報告や今後の取組について積極的な意見交換が行われました。



埼玉県知事、さいたま市長による
意見交換がおこなわれました。

令和7年4月8日に、大野元裕知事と清水勇人市長の意見交換がおこなわれ、今年度内に、県市連名で事業実施要請を目指す旨表明されました。



国土交通大臣へ要望書を
手渡しました。

令和7年4月14日に大野元裕知事と清水勇人市長が、事業の実施に向けた支援を求める要望書を中野洋昌国土交通大臣に手渡しました。

地下鉄7号線延伸事業PR動画

「未来へつなごうわたしたちのまち」を公開中

地下鉄7号線延伸事業を広くさいたま市民にPRし、延伸実現に向け「オールさいたま」での更なる気運醸成を目的に作成しました。本動画の撮影にはドローンを使用し、日常とは違う角度から、延伸予定地域を見ることができます。

動画公開情報

本動画のロングバージョン(約7分)をYouTube(さいたま商工会議所チャンネル)にてご覧いただけます。

動画 URL はこちら
(外部サイト YouTube にリンクします)
<https://youtu.be/lue-lbbCJJI>



その他、さいたま市の催事情報システムで30秒版の動画を公開しております。



地下鉄7号線 誘致期成同盟会 発足

現 地下鉄7号線建設誘致期成同盟会

